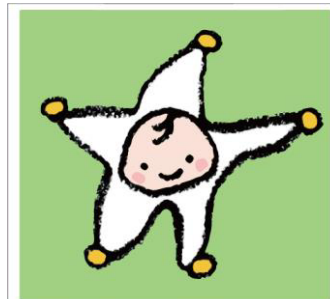


健やか親子 2 1 推進協議会参画団体 及び応援メンバーの取組状況について



健やか親子21

健やか親子21(第2次)推進・連携体制イメージ図

すべての子どもが健やかに育つ社会の実現



健やか親子21

(重点課題①)
育てにくさを感じる親に寄り添う支援(5指標)

(重点課題②)
妊娠期からの児童虐待防止対策(12指標)

(基盤課題A)切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策(16指標)

(基盤課題B)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策(11指標)

(基盤課題C)子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり(8指標)

〈健やか親子21推進協議会〉

「健やか親子21(第2次)」に関する主要課題に対する
取組について、専門的立場から効果的な調整・推進を図る

総会
(全団体が参加)

運動方針等重要事項の決定

幹事会

○テーマグループごとに団体同士が連携して取組を推進する

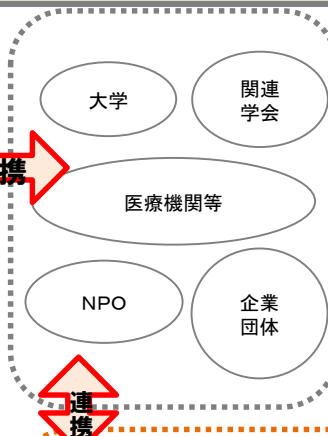
1
情報発信

2
育児支援

3
虐待防止

4
調査研究

○各団体内で「健やか親子21」に関連する取組を実施
参画団体(87団体)



〈地方公共団体〉

市町村

都道府県・
政令市・特別区

各地域内で
連携

連携

関係省庁

文部
科学省

連携

連携

〈応援メンバー〉

○「健やか親子21」への参加意思表示

○趣旨にあった取組を行う(情報発信等)

サロン
(情報交換の場)

連携

連携

連携

連携

〈全国大会〉

主催: 国、都道府県、母子愛育会、
母子保健推進会議、日本家族計画協会
○全国から母子保健関係者を集め母子保健の諸
問題の研究討議する
○母子保健事業の推進に功績のあった個人及び
団体を表彰する

〈アワード〉

○先進的で優れた企業・団体・自治体の取組を
表彰する

申請
受付

運営・支援

運営・支援

事務局(小学館集英社プロダクション)

○協議会の運営
○啓発・普及・情報発信

厚生労働省子ども家庭局母子保健課(運動全体の企画・立案・進捗状況管理等)

「健やか親子21(第2次)」のスケジュール

関係者や関係機関・団体が一体となって、「すべての子どもが健やかに育つ社会」を築いていけるよう推進を図っていく

年度	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	...	2024
全体	2015年度(H27年度)～第2次開始		中間評価		終了 第2次
国	<p>・母子保健課調査等の実施(指標のモニタリング)</p> <p>・強化が必要な課題の整理 ・指標の適切な調査方法の周知</p> <p>・母子保健課調査や定期調査で把握できない指標の調査実施 ・中間評価に向けた課題の整理(新たに取り組むべき課題含む)</p> <p>検討会開催</p> <p>最終評価・次期計画検討</p>				
地方公共団体	<p>・地域格差縮小のため、地域の実情に応じた母子保健計画の策定・推進・評価を実施 ・母子保健課調査への協力(乳幼児健診問診項目、母子保健事業の実施状況調査)</p> <p>・乳幼児健診問診項目中間評価前年度追加項目の調査協力</p> <p>中間評価・計画修正等</p>				
推進協議会	<p>・総会(年間1回程度:取組の共有・方針の決定)、幹事会(年間3回程度)の開催</p> <p>・団体同士の連携した取組推進に向けた体制の強化 ・取組の共通テーマを検討</p> <p>→ テーマグループごとに取組推進</p> <p>・重点的に取り組むべき課題の解決に向けた取組の推進を図る</p> <p>→ 共通テーマについて専門的な立場から推進</p>				
応援メンバー	「健やか親子21」の趣旨に賛同する企業・団体等が参画し、その趣旨に沿った活動の推進に努める				
普及・啓発	<p>・ホームページの運用強化</p> <p>・マタニティマーク</p> <p>・妊産婦の食育</p> <p>・啓発に関する検討</p> <p>・計画に沿った啓発</p> <p>→ 計画的な啓発</p>				

「健やか親子21」の最終評価等に関する検討会

【目的】

- 「健やか親子21」は、21世紀初頭における母子保健の国民運動計画(平成26年まで)として、平成13年から始まり、平成17年及び平成21年に中間評価が行われた。その結果を踏まえて重点取組項目が設定される等、さらに取組が推進されてきた。
- 平成26年には「健やか親子21」の計画期間が終了することから、今回、「健やか親子21」の課題別指標に基づいた取組の最終評価を行い、達成できた課題と引き続き取り組むべき課題を明らかにし、「健やか親子21」の次期計画策定に向けた検討を行った。

論点



1. 「健やか親子21」の最終評価
2. 「健やか親子21」の次期計画策定
3. その他



健やか親子21

【検討スケジュール】

<最終評価等>

- 第1回(平成25年7月29日): 推進の状況、最終評価の進め方、最終評価(指標に基づく分析・評価①)
- 第2回(9月4日): 最終評価(指標に基づく分析・評価②)、現計画の総括評価、次期計画の課題検討、最終報告書骨子案
- 第3回(10月28日): 最終報告書案とりまとめ

<次期計画策定>

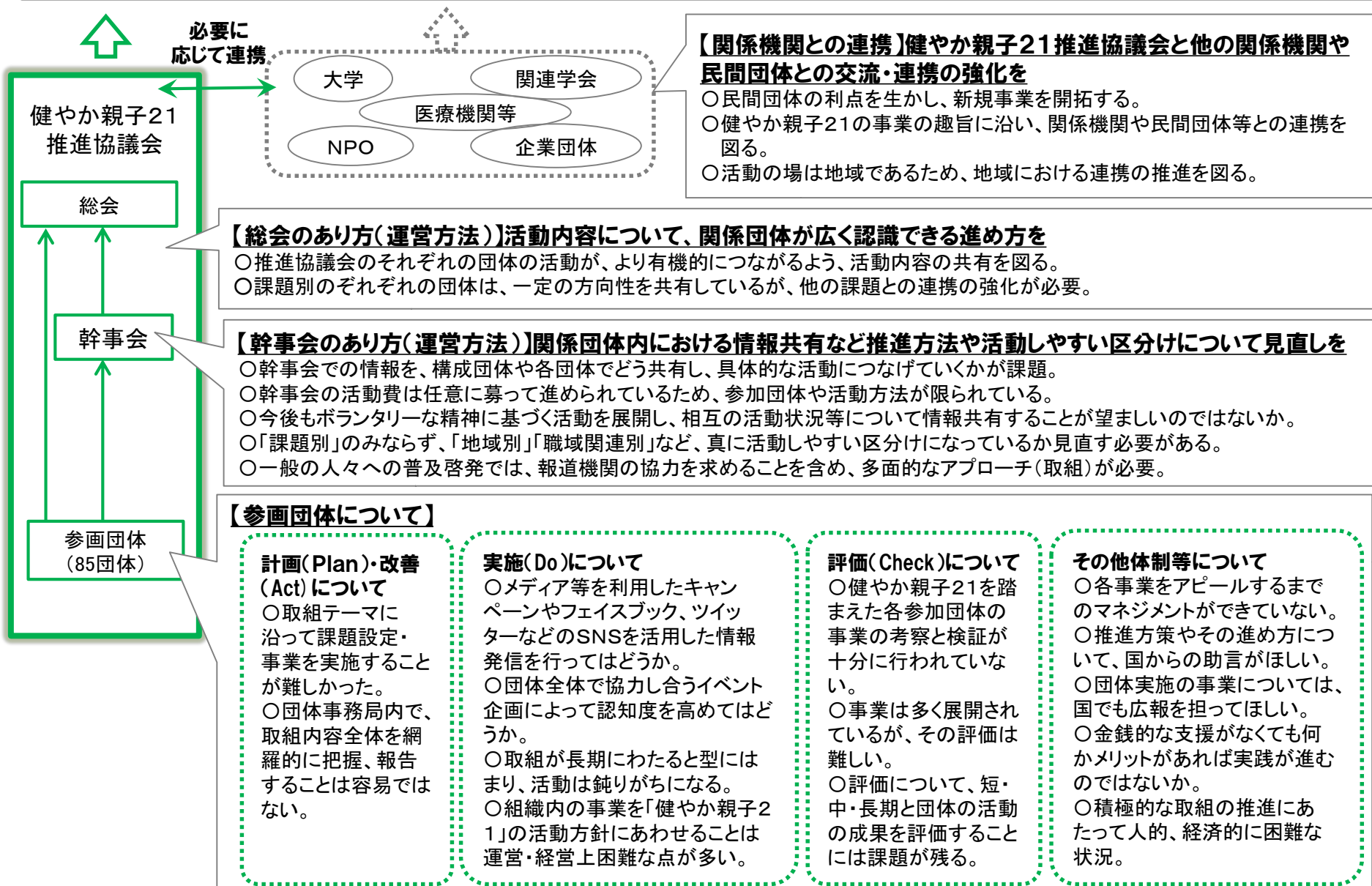
- 第4回(11月18日): 今後の進め方、次期計画策定の考え方・方向性、ベースライン値の考え方
- 第5回(12月25日): 次期計画の課題・指標・目標値の検討①
- 第6回(1月29日): 次期計画の課題・指標・目標値の検討②
- 第7回(2月13日): 評価方法の検討、推進協議会のあり方等の検討
- 第8回(3月5日): 次期計画(素案)提示
- 第9回(3月28日): 次期計画(案)とりまとめ
- 第10回(平成26年10月24日): 次期計画における指標及び目標等の設定について、推進体制について

【委員:合計19名】

- ・ 青木孝子 (葛飾区立新小岩中学校校長)
- ・ 秋山千枝子 (あきやま子どもクリニック院長)
- ◎五十嵐隆 (国立成育医療研究センター理事長)
- ・ 出石珠美 (全国保健師長会健やか親子21特別委員会委員長、横須賀市健康部保健所健康づくり課課長補佐)
- ・ 市川宏伸 (NPO法人日本発達障害ネットワーク理事長)
- ・ 伊東芳郎 (宮崎市健康管理部長)
- ・ 今村定臣 (公益社団法人日本医師会常任理事)
- ・ 奥山千鶴子 (NPO法人子育てひろば連絡協議会理事長、NPO法人びーのびーの理事長)
- ・ 川崎二三彦 (子どもの虹情報研修センター研究部長)
- ・ 小林武正 (福島県子育て支援担当理事)
- ・ 迫和子 (公益社団法人日本栄養士会専務理事)
- ・ 佐藤徹 (公益社団法人日本歯科医師会常務理事)
- ・ 島田真理恵 (上智大学総合人間科学部看護学科教授、公益社団法人日本助産師会副会長)
- ・ 篁倫子 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授)
- ・ 中板育美 (公益社団法人日本看護協会常任理事)
- ・ 成田友代 (世田谷区世田谷保健所長)
- ・ 久永美砂 (株式会社日立ソリューションズ人事総務統括本部人事部担当部長)
- ・ 山縣然太郎 (山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座教授)
- ・ 横山徹爾 (国立保健医療科学院生涯健康研究部長)

推進協議会における課題(1)

～「健やか親子21」推進のためのプロセスチェックリスト調査結果から～



推進協議会における課題(2) ～今年度の総会で出された意見から～

「健やか親子21」の最終評価等に関する検討会資料



健やか親子21
推進協議会

総会

幹事会

参画団体
(85団体)

第13回 健やか親子21推進協議会総会(平成26年1月15日開催)

○推進協議会のあり方

- ・現在の課題別での取り組み方では、継続的にテーマを進めることが難しかった。
- ・予算のない国の事業は二の次になりがち。国として推進すべき取組があれば、研究費等で予算上の対応を検討できないか。
- ・専門団体だけでなく、当事者(子どもや母親等)の参画をもっと促す仕組みを考えるべきではないか。

○周知について

- ・公式ホームページだけでは、国民に強力な情報発信をすることは不十分なのではないか。
- ・各団体が進める取組等のアーカイブ情報の集約方法を周知していくことが大事ではないか。

○評価について

- ・基礎的なデータをしっかり把握して指標化していくことが必要。
- ・現計画で改善されたということで、重要な指標が外されないように留意してほしい。
- ・利用可能な指標のみで評価するのではなく、健やか親子21の趣旨を踏まえた適切な評価指標を設けることが必要ではないか。

○テーマについて

- ・子どもが自ら考えられるような健康教育を進めることが大事。
- ・ソーシャルキャピタルの視点は非常に重要。人と人とのつながりを強化していくことが大事。



健やか親子21

健やか親子21推進協議会の体制について

健やか親子21推進協議会

目的:「健やか親子21(第2次)」に関する主要課題に対する取組について、効果的な調整・推進を図る(規約第1条)

幹事会

目的:協議会の運営の企画・調整を行う

幹事会メンバー:五十嵐隆会長、松谷有希雄副会長、池田智明副会長、幹事団体代表:日本小児科学会三牧正和幹事
企業メンバー:東京商工会議所、にっぽん子育て応援団(KODOMOLOGY株式会社(資生堂グループ))

各テーマの幹事団体から
活動状況報告

進捗管理

団体(87団体)

各課題グループ	テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4
※複数のテーマに所属している団体あり	国民への普及啓発・ 情報発信等	育児支援等	児童虐待防止・ 対応強化	調査研究やカウンセリング体制の充実・ガイド ライン作成等
参加団体	57団体	38団体	31団体	31団体

- 各団体の取組についての情報交換
 - テーマごとに、健やか親子21(第2次)推進に向けた普及啓発、研修等の共同事業の企画・調整・実施
- ➡ 総会(年1回)で全体への活動報告

事務局

厚生労働省(子ども家庭局母子保健課)

健やか親子21推進協議会活動



- ・推進協議参加団体同士の情報交換・連携の場
- ・各テーマグループのメーリングリスト活用
- ・健やか親子21公式ウェブサイトの活用
- ・「健やか親子21（第2次）」に関連した研修会、講演会、シンポジウム、セミナー等の開催
- ・各団体HPや機関誌等での「健やか親子21（第2次）」の課題に関する情報発信
- ・シンボルマーク「すこりん」の活用

国民運動計画としての取組の充実に向けて

国民運動計画としての取組の推進体制

- 関係者が、それぞれの特性や専門性などの強みを活かしつつ、参画できるような体制とすることが求められる。
- 「健やか親子21(第2次)」において掲げられた課題の達成に向けては、保健、医療、福祉、教育、労働等、幅広い分野から取組に参画してもらうことが重要。

健やか親子21推進協議会及び各参画団体の活動の更なる活性化

- 団体同士の連携した取組をより推進するため、各団体の活動内容や活動スケジュールの情報を共有するなど、有機的につながる体制を構築することが求められる。

企業や学術団体等の連携、協働による取組推進の体制づくり

- 国民運動としての幅を一層広げる観点から、子育て等に関連する事業を展開する企業や学術団体等の取組と連携した普及啓発活動等を模索していくことも意義がある。
- 「健やか親子21」に参画する企業が、次世代の子どもの健康や子育てをする親などの当事者を支援することが、企業の広報活動や社会貢献にもつながるといった双方にとってメリットのある仕組みとなるよう工夫が求められる。

目標の設定と評価について

目標の設定

○全ての指標について、10年間の取組が着実に促されるよう段階的な目標を設定。

評価

○「健やか親子21（第2次）」の開始から5年目を目途に、目標の達成状況等について中間評価を、また終期となる10年目を目途に最終評価を行う。

○目標達成に向けた様々な取組に関する評価を実施し、評価結果を踏まえ、継続性をもちつつ母子保健分野の更なる取組に反映させていく。

○中間評価、最終評価を行う際は、今後強化又は改善すべき点を検討し、評価の結果を公表する。

「健やか親子21（第2次）」の取組状況に関する調査

【目的】

○今後の取組の推進に向けて、強化又は改善すべき点を検討するため「健やか親子21（第2次）」が2015年に開始されてからの約4年間における、各指標（環境指標を除く）の目標達成に向けた各団体・企業の取組状況を把握することを目的とする。

【調査方法】

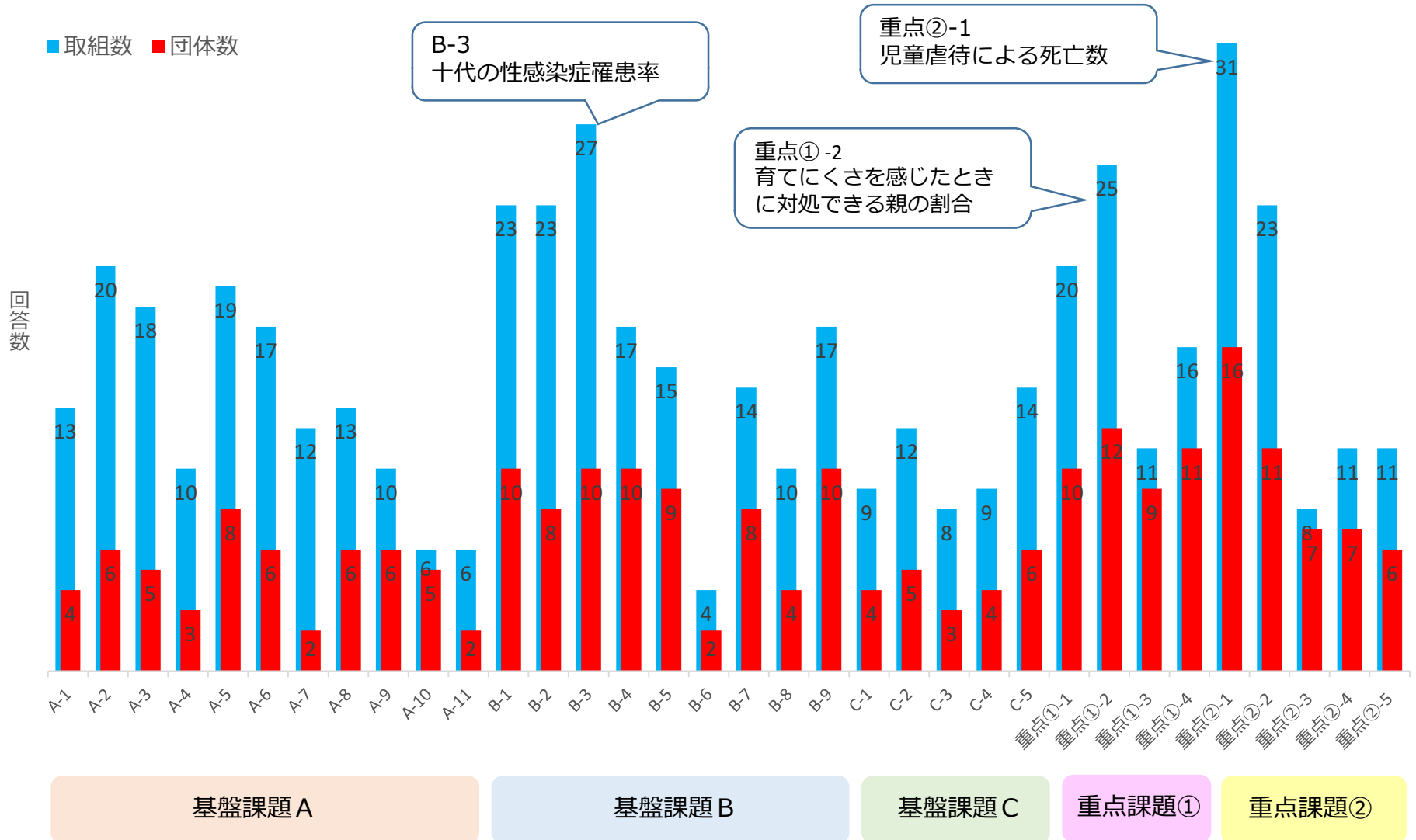
- 対象 2019年1月10日現在、健やか親子21推進協議会に参画する団体及び健やか親子21応援メンバー
- 方法 登録メールアドレスへ調査票を送付
- 回答期間 2019年1月10日から2019年2月4日
※回答期限以降に提出された分も集計対象とする

【回収状況】

- 健やか親子21推進協議会参画団体
(2019年2月20日時点 回答数：44団体／87団体中)
- 健やか親子21応援メンバー
(2019年2月20日時点 回答数：23団体／94団体中)

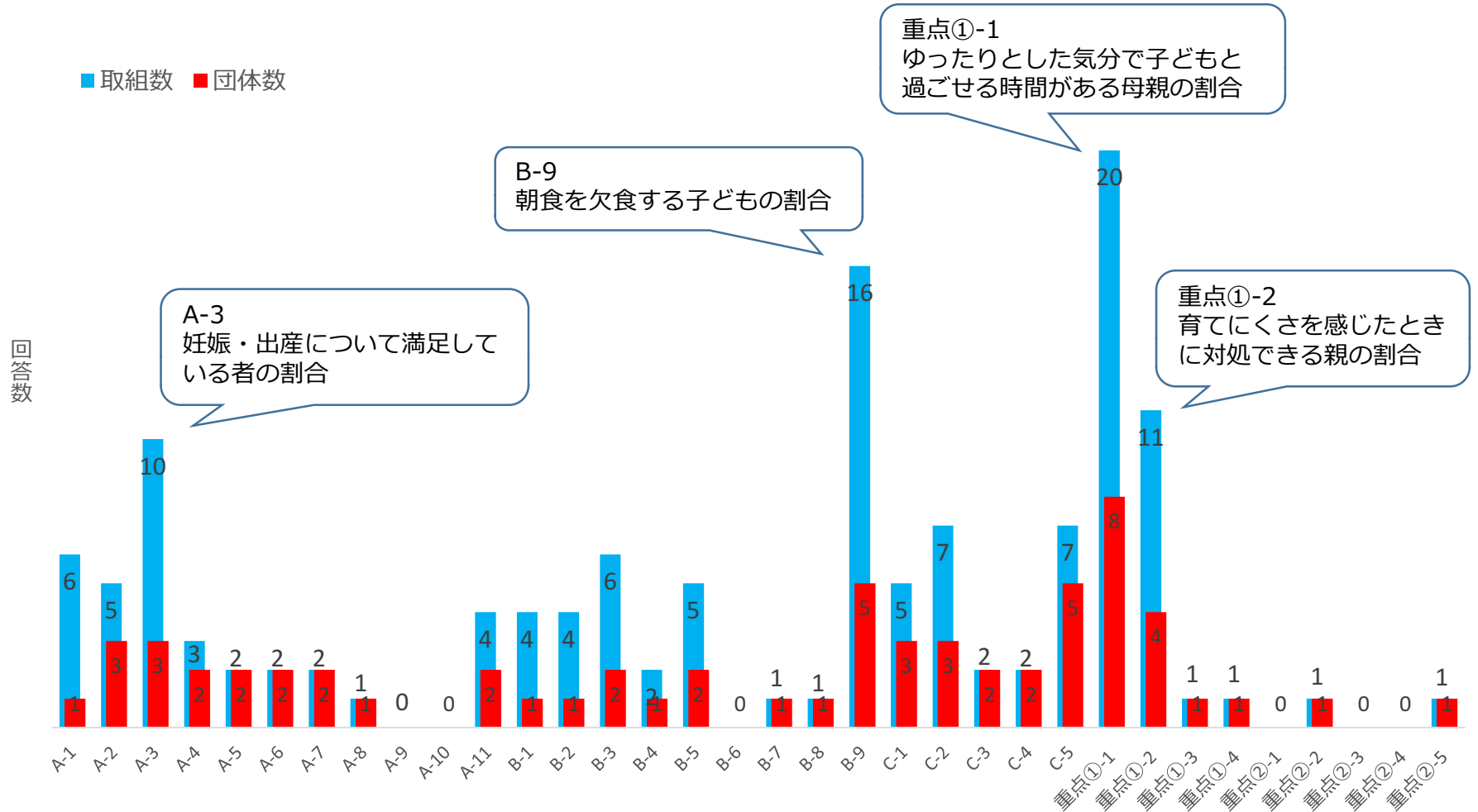
(回答：推進協議会) 「健やか親子21 (第2次)」の取組状況に関する調査

この4年間で健やか親子21 (第2次) で設定した指標の目標達成のために貢献できたと思う取組数及び貢献したと思う団体数



(回答：応援メンバー) 「健やか親子21 (第2次)」の取組状況に関する調査

この4年間で健やか親子21 (第2次) で設定した指標の目標達成のために貢献できたと思う取組数及び貢献したと思う団体数



基盤課題A

基盤課題B

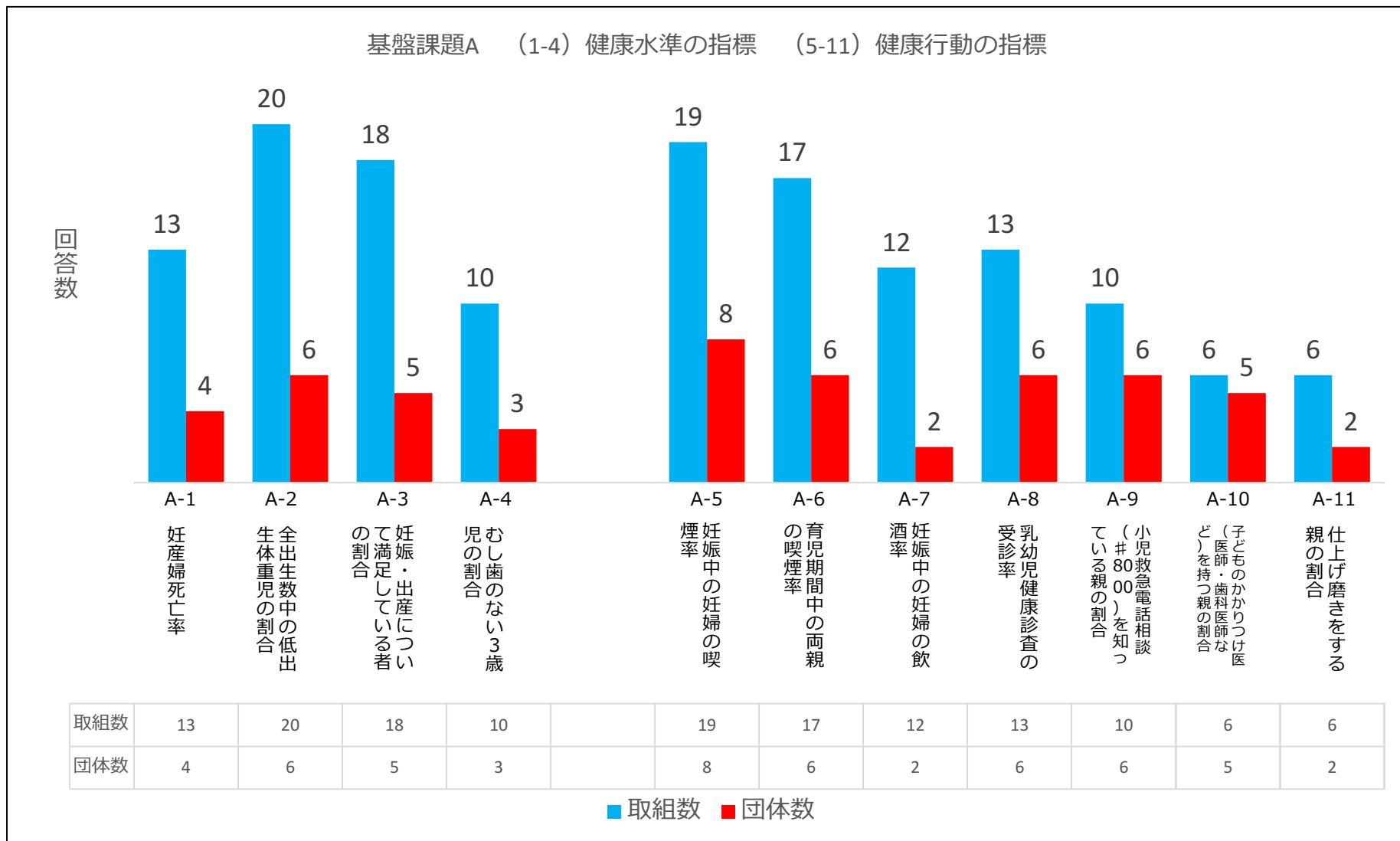
基盤課題C

重点課題①

重点課題②

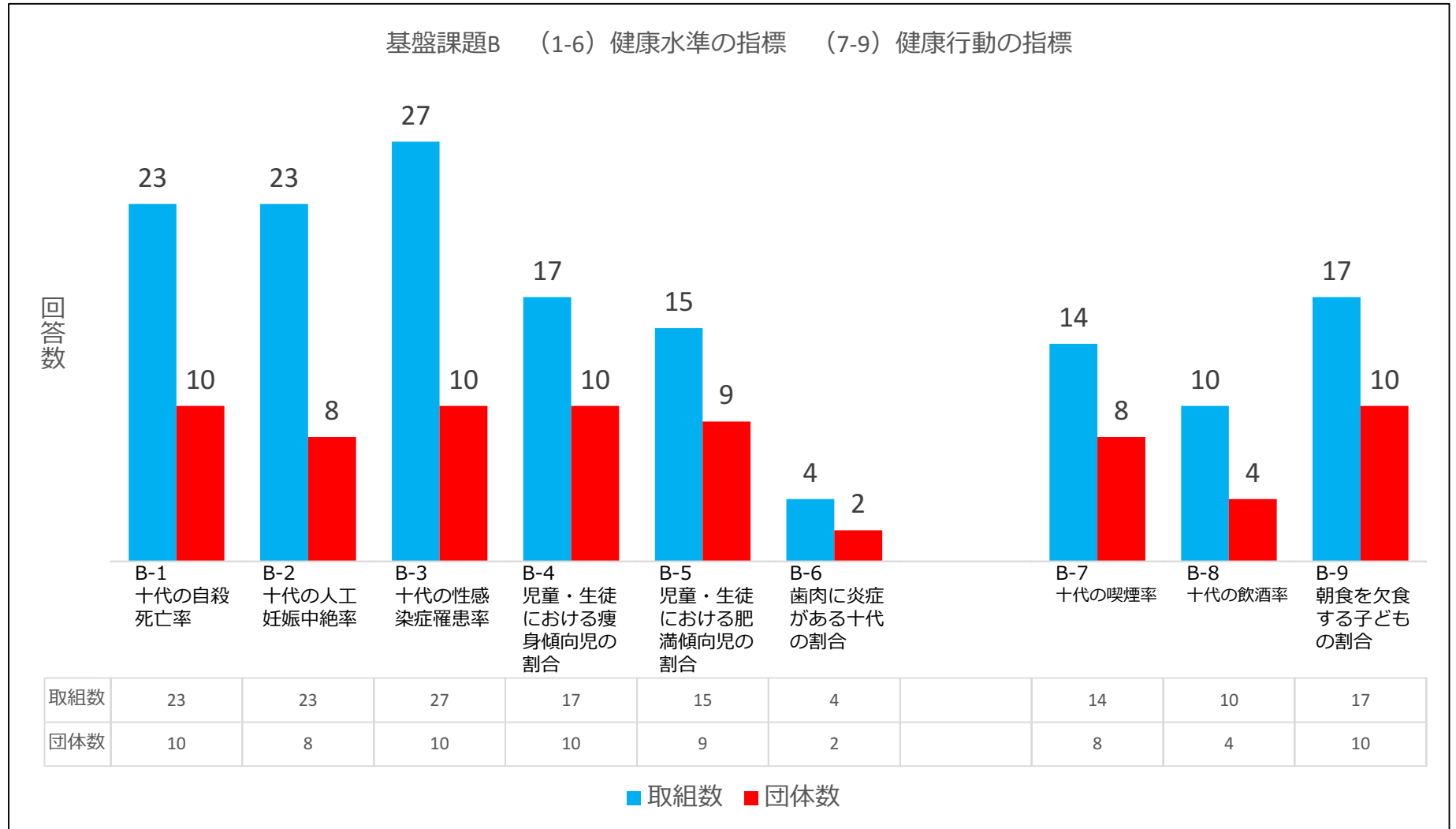
基盤課題A 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策

この4年間で健やか親子21（第2次）で設定した指標の目標達成のために貢献できたと思う取組数及び貢献したと思う団体数



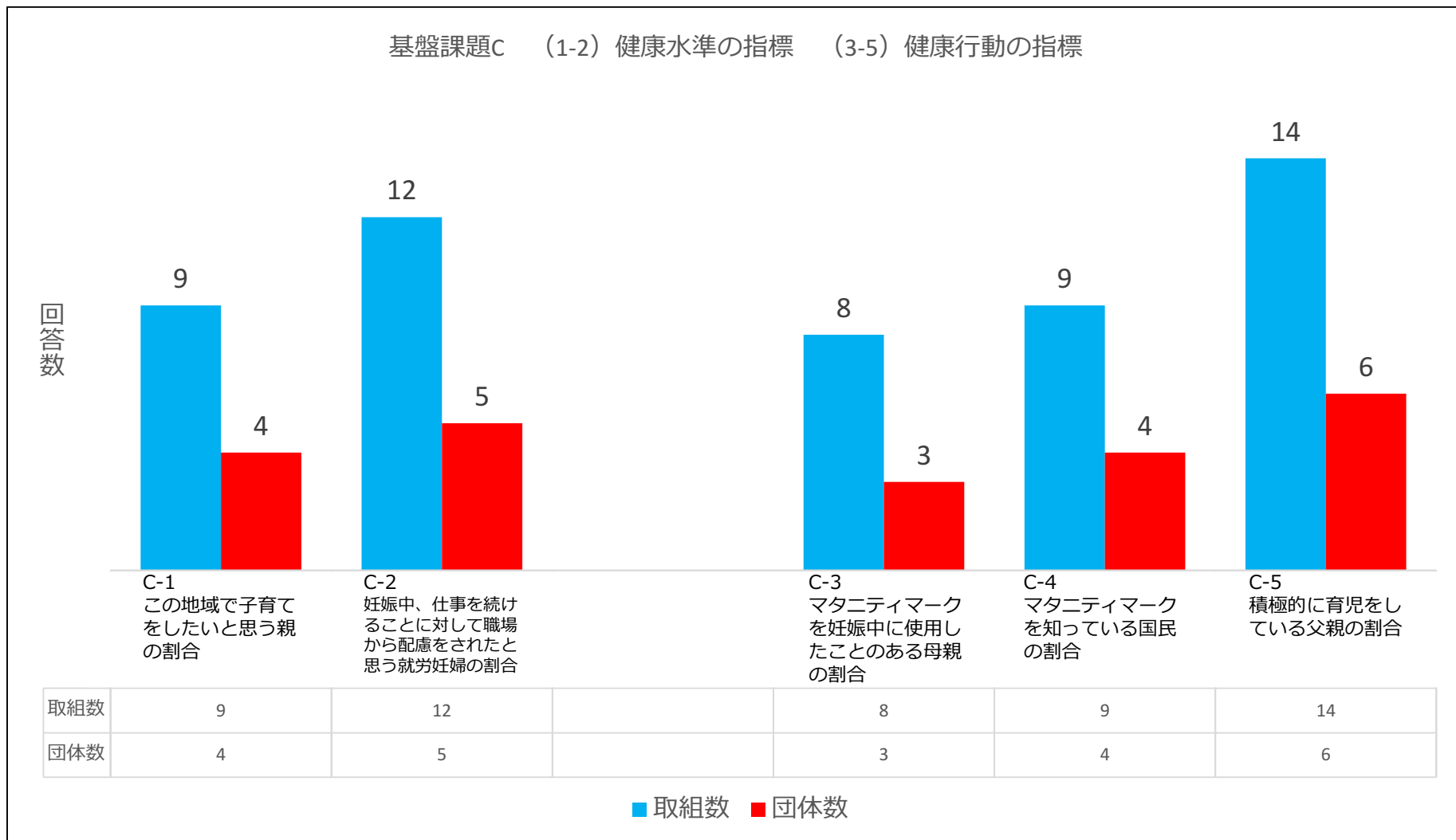
基盤課題B 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

この4年間で健やか親子21（第2次）で設定した指標の目標達成のために貢献できたと思う取組数及び貢献したと思う団体数



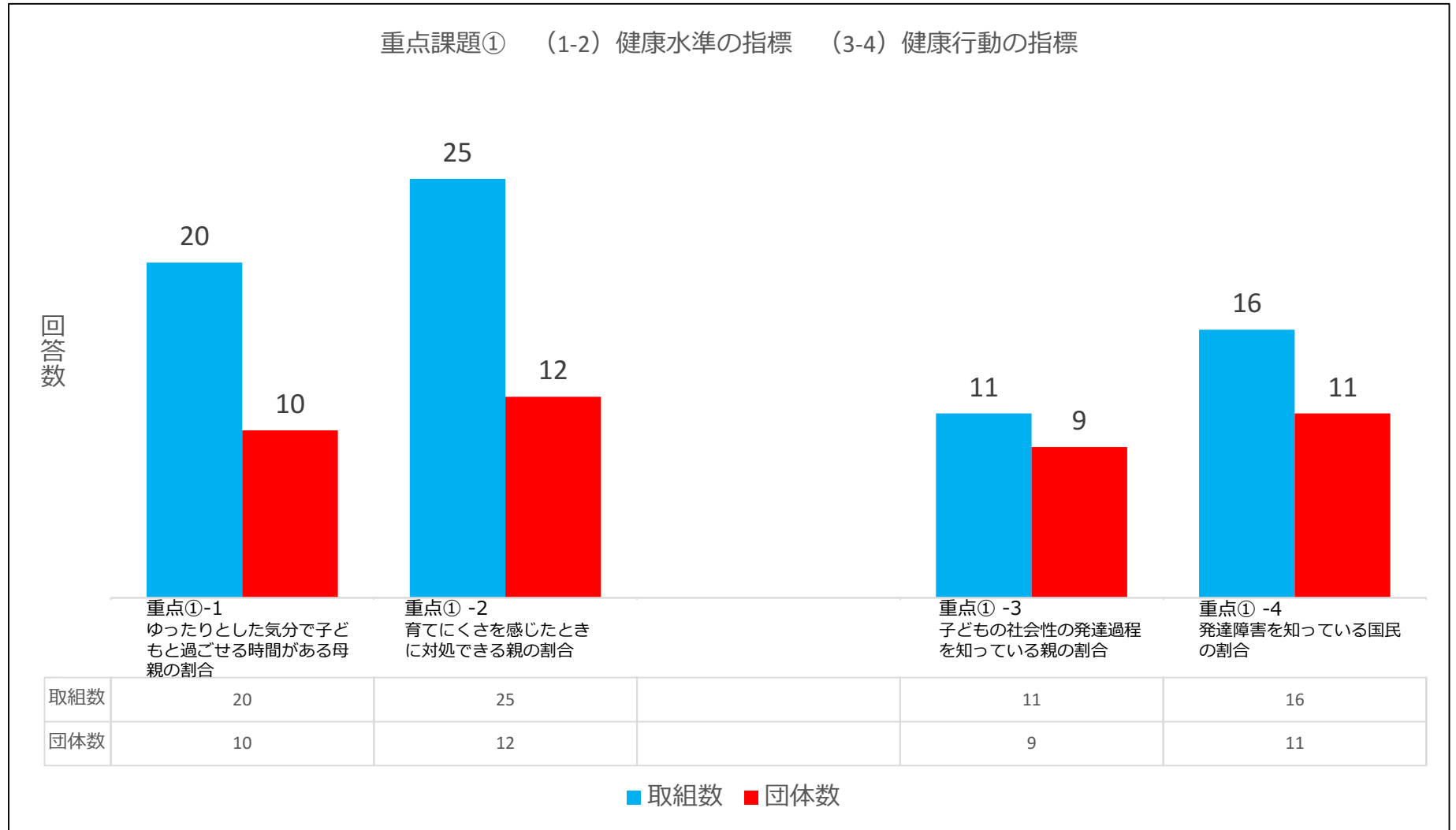
基盤課題C 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

この4年間で健やか親子21（第2次）で設定した指標の目標達成のために貢献できたと思う取組数及び貢献したと思う団体数



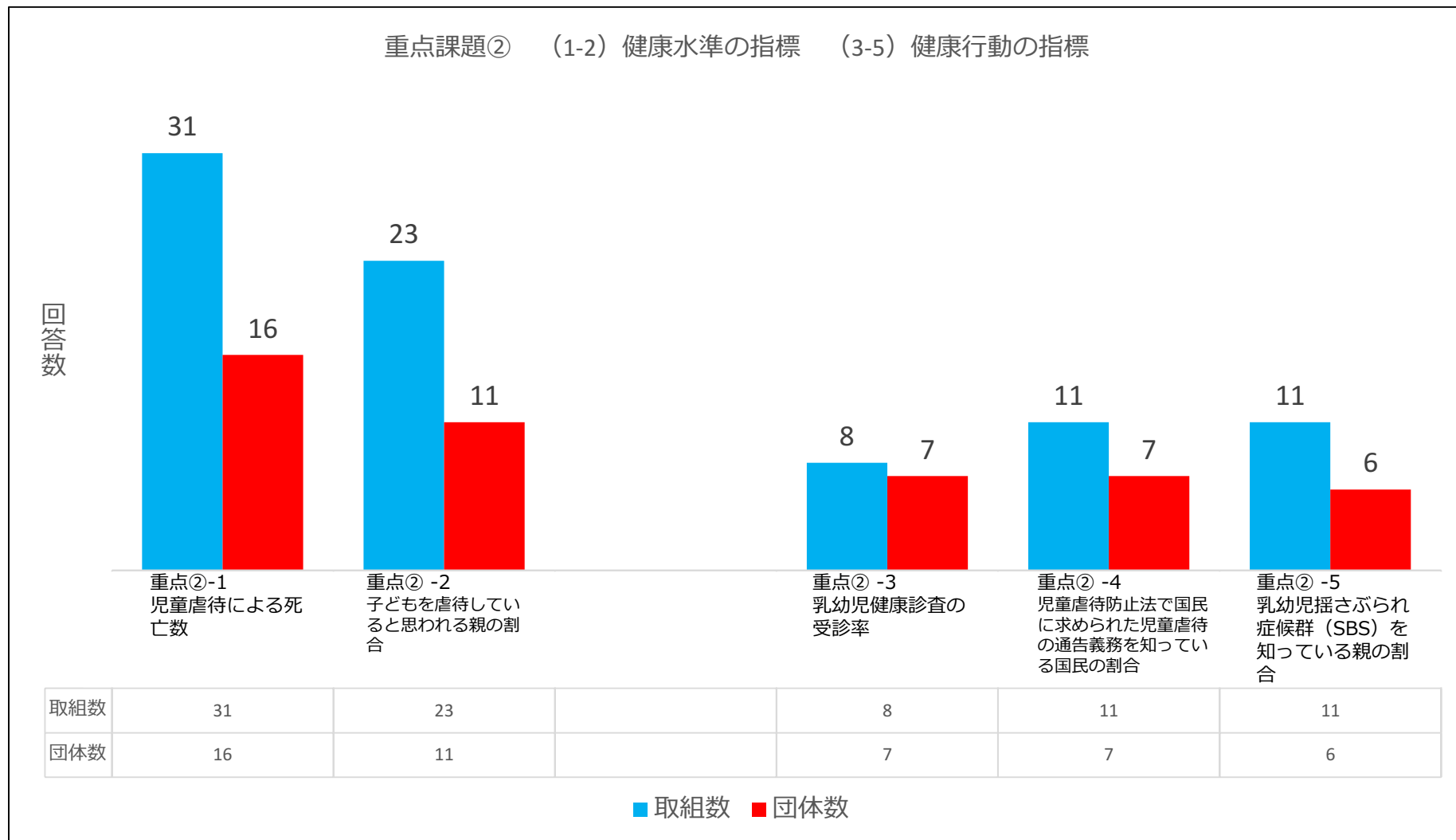
重点課題① 育てにくさを感じる親に寄り添う支援

この4年間で健やか親子21（第2次）で設定した指標の目標達成のために貢献できたと思う取組数及び貢献したと思う団体数



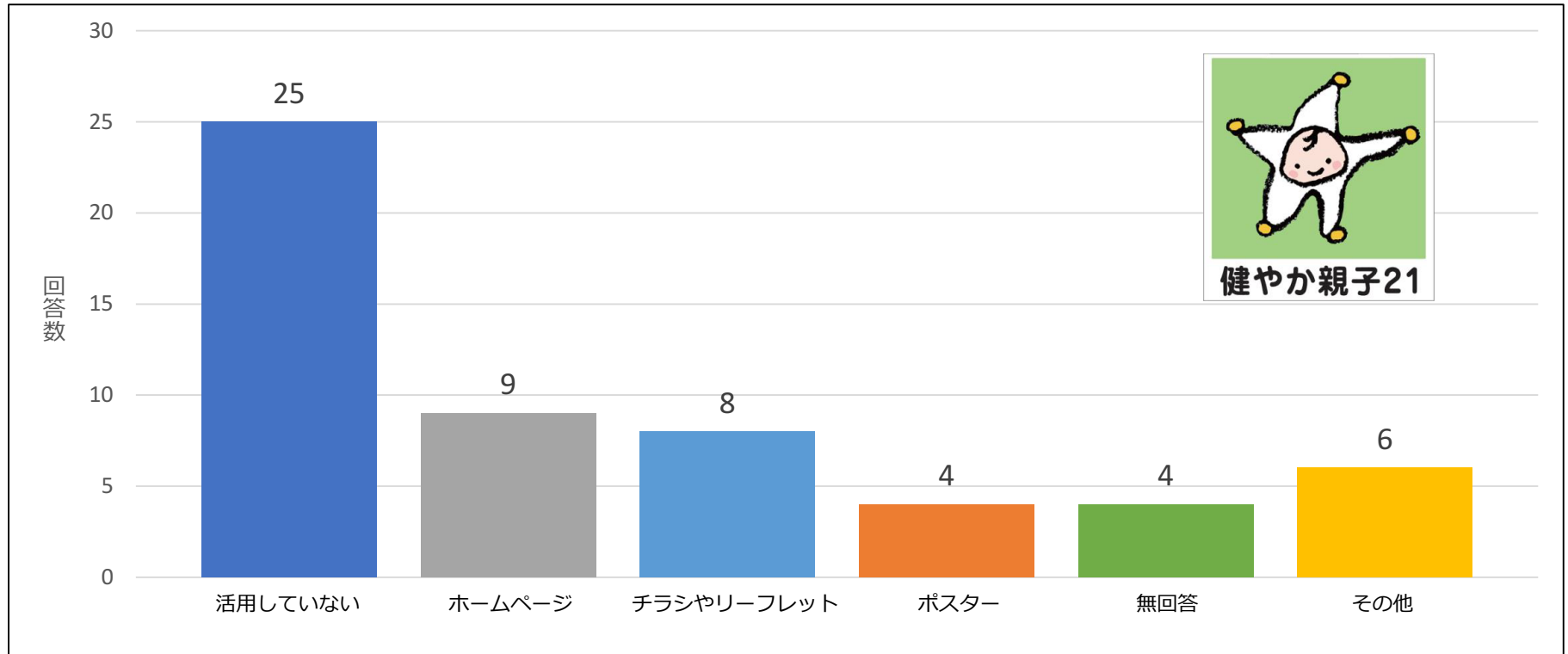
重点課題② 妊娠期からの児童虐待防止対策

この4年間で健やか親子21（第2次）で設定した指標の目標達成のために貢献できたと思う取組数及び貢献したと思う団体数



(回答：推進協議会) 健やか親子21シンボルマーク「すこりん」の活用

この4年間で健やか親子21のシンボルマークである「すこりん」を貴団体で活用を
しましたか？（複数回答可）

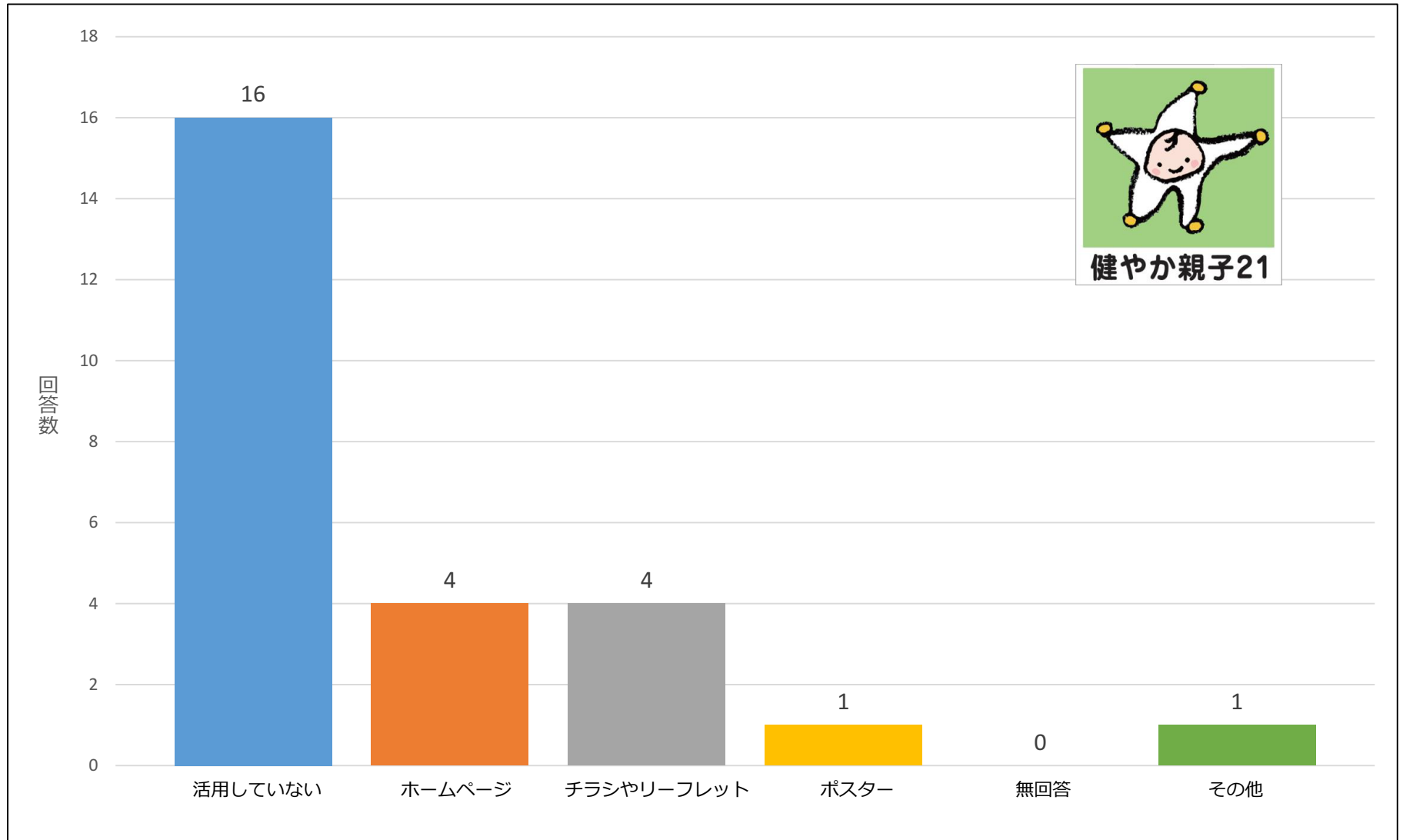


【その他の回答】

健やか親子21の案内等をメール配信する際に添付／セミナーリーフレット／第8回園医研修会、第13回思春期医学臨床講習会、第2回、3回乳幼児健診研修会 part 3、第11回乳幼児健診研修会 part 4／ニュースレター／毎年開催する定例研修会の資料集に印刷している／ニュースレターで紹介／健やか親子 全国大会併設全国集会レジユメ等／

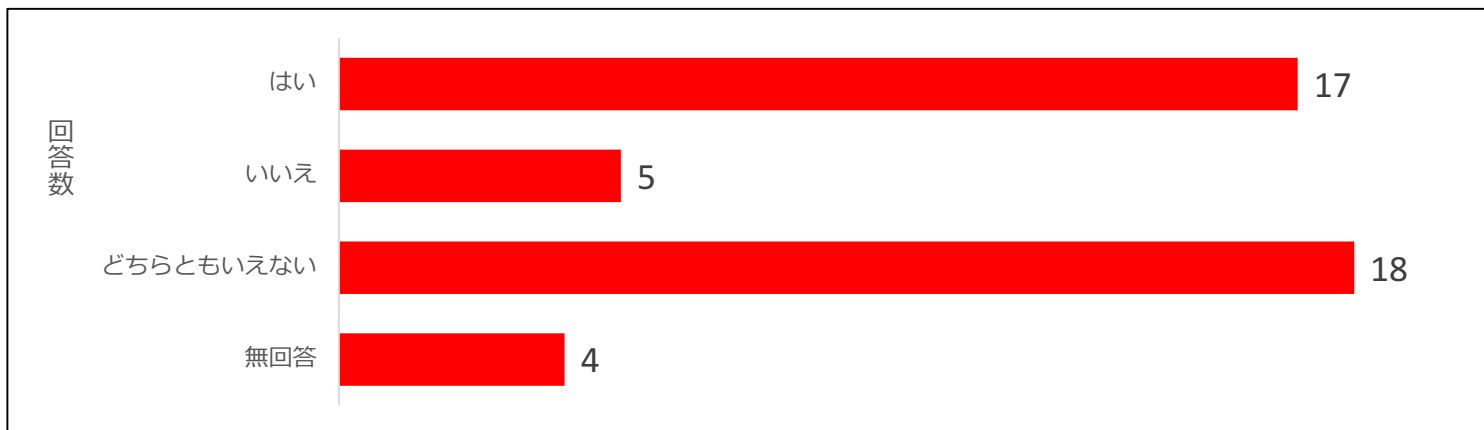
(回答：応援メンバー) 健やか親子21シンボルマーク「すこりん」の活用

この4年間で健やか親子21のシンボルマークである「すこりん」を貴団体で活用を
しましたか？(複数回答可)



関係者間における意見交換及び情報共有

この4年間で推進協議会・応援メンバー間における意見交換及び情報共有の機会が増えましたか？



機会が増えたことによって貴団体の取組に役立ったことがあれば具体的に教えてください。

- ・健やか親子21を意識した取り組みが団体内で検討されるようになった。
- ・他業種や多職種間の連携が取りやすくなった。
- ・他学会の研修会などの案内があり、会員に情報提供することができる。
- ・シンポジウムや研修会等への他団体からの講演者の招聘の際、他団体との交流を通して共有した情報が役立っている。
- ・健やか親子21（第2次）に関する活動について、当学会に対して社会からの大きな期待があることを知ることができ、学会としてこの課題を取り上げる必要があることを学会内にアピールできた。
- ・研究事業への理解が深まった。
- ・情報交換により、思春期の問題など新しい分野に取り組むことができた。
- ・互いの理解（活動内容・どのような情報を持っているか等）が深まり、日常的な情報交換ができるようになった。
- ・シンポジウムやイベント等実施の際、互いの後援、協力、協賛等いただく（またはさせていただく）ことで、広報に協力していただけるようになった。

健やか親子21に貢献する指標以外の取組について

「健やか親子21（第2次）」が掲げる指標以外にこの4年間で実施した健やか親子21に関係する取組について、記載してください。

- 高校生への児童虐待予防のための授業
- 歯科保健関係動画の広報
- 思春期学の研究
- 「スマホに子守をさせないで」「遊びは子どもの主食です」「スマホの時間私は何を失うか」のリーフレット・ポスターの配布
- 妊婦向け「プレママのための、知って安心、電磁波のこと」というパンフレットを作成・配布
- 在日外国人の子どもに関する情報提供
- 予防接種に関する過誤事例発生状況全国調査
- 病気や障がいのある子どもの保護者の育児不安や子育て支援

健やか親子21に貢献する指標以外の取組について

「健やか親子21（第2次）」が掲げる指標以外にこの4年間で実施した健やか親子21に関係する取組について、記載してください。

- かかりつけ薬剤師の役割、お薬手帳を持つことの有用性等について国民向け周知を行った。
- 貧困や虐待と関連して多数歯う蝕を有するハイリスク児に対する情報提供及び個別対応を行っている。
- 歯科から食べることについての情報提供の取り組み
- 適切な人工乳の補足に関する情報提供
- 働く女性の健康確保
- 東北大震災後の子どもの心のケア
- 思春期ピアカウンセラーの若者たちの交流
- 治療ガイドライン作成
- セクシュアルマイノリティーの方が直面する諸問題への対応
- 妊娠期からのむし歯予防
- 乳幼児における重大な事故につながる異物誤飲（ボタン電池）について啓蒙活動
- 小児において起こり得る救急処置（PALS）講習 等

健やか親子21に貢献する指標以外の取組について

「健やか親子21（第2次）」が掲げる指標以外にこの4年間で実施した健やか親子21に関係する取組について、記載してください。

- 小児医療に関わる医師に地域総合小児医療について理解と研鑽の必要性を啓発
- ボランティアの励ましや交流
- 保健師の研修会
- 助産師の研修会
- 養護教諭の職務に関する調査
- 性教育を行う講師の養成
- 「虐待」について講習指導者の研修会を実施
- 小児救急アンケート調査